

1 住民アンケート調査

(1) 調査の概要

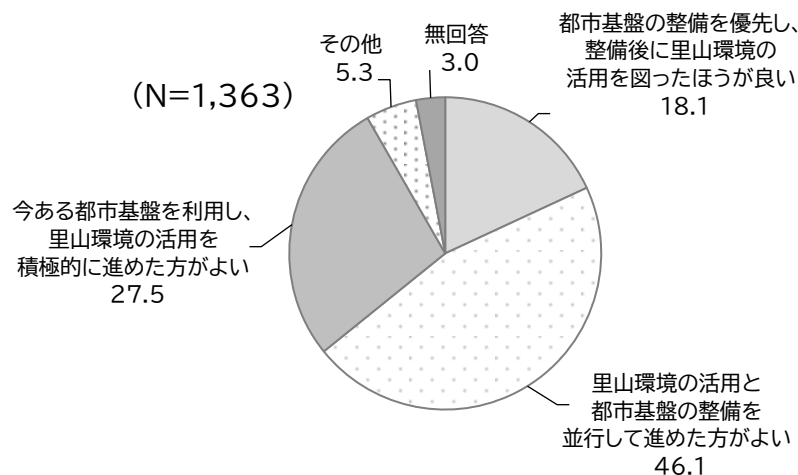
調査期間：2020年12月～2021年1月

調査対象	調査方法	回収数	主な項目
上小山田町エリア 1,000 世帯 下小山田町エリア 1,000 世帯 小野路町エリア 1,000 世帯 計 3,000 世帯	各世帯2通、 ポスティング による配布・ 郵送回収	1,363	・回答者の属性 ・里山への関心行動の段階 ・活動（団体）の認知度 ・活動への参加希望 ・主体的行動への意欲 ・関心・行動のきっかけ ・求めること 等

(2) 調査結果の概要

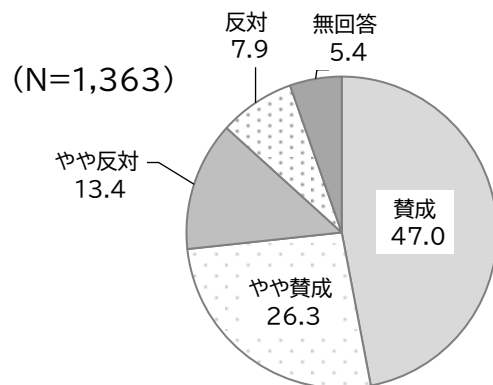
問ア このエリアにお住まいの立場から、今後も貴重な場所としてあるためには、主にどのようなことが重要だと考えますか？（○は1つ）

「里山環境の活用と都市基盤の整備を並行して進めた方がよい」が46.1%と最も多く、次いで「今ある都市基盤を利用し、里山環境の活用を積極的に進めた方がよい」が27.5%、「都市基盤の整備を優先し、整備後に里山環境の活用を図ったほうが良い」が18.1%となっている。



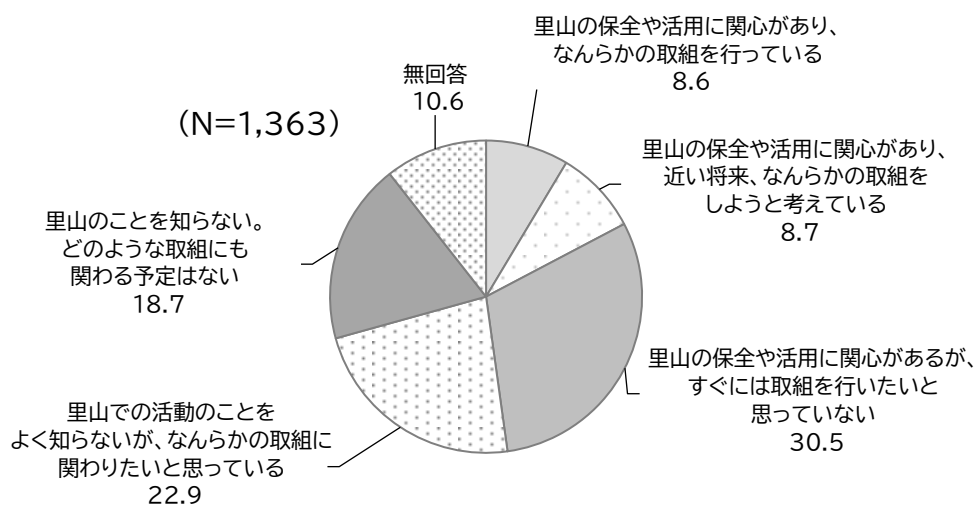
問イ このエリアにお住まいの立場から、里山環境を保全・活用するにあたって、北部丘陵以外のエリアの人や団体が参画することについてどうお考えですか？

「賛成」が47.0%と最も多く、次いで「やや賛成」が26.3%、「やや反対」が13.4%となっている。



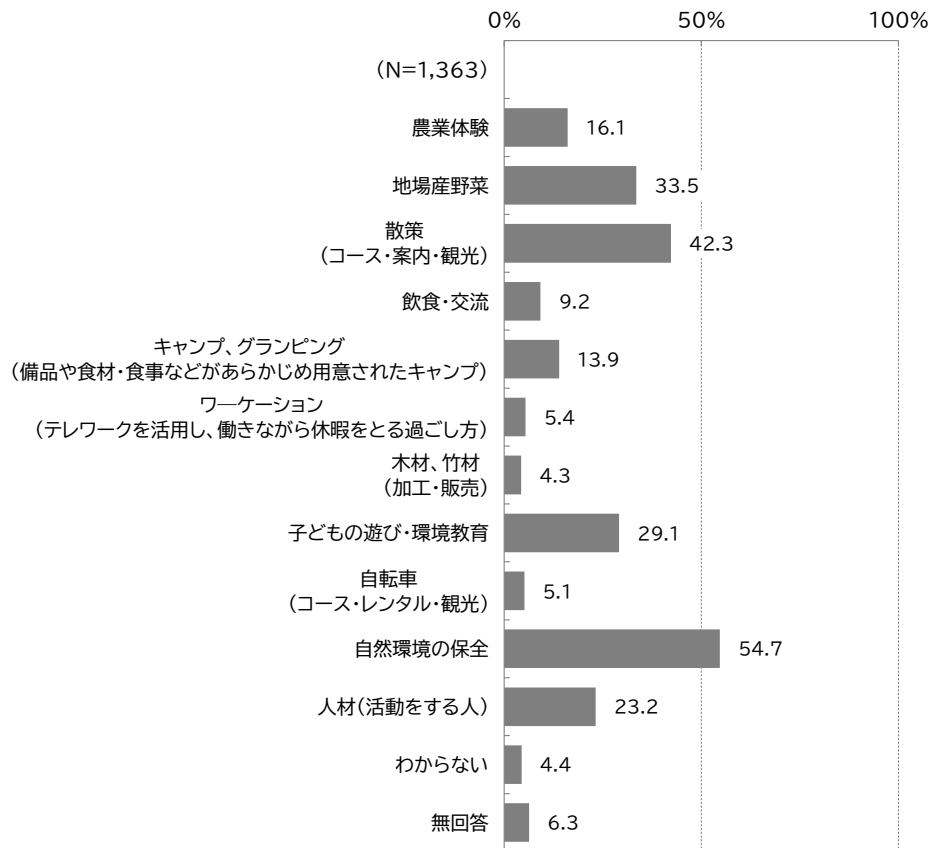
問ウ あなたの里山に対する関心や行動の状況について、最もあてはまるものはどれですか？ (○は1つ)

「里山の保全や活用に関心があるが、すぐには取組を行いたくない」と思っていないが30.5%と最も多く、次いで「里山での活動のことをよく知らないが、なんらかの取組に関わりたいたいと思っている」が22.9%、「里山のことを知らない。どのような取組にも関わる予定はない」が18.7%となっている。



問工 里山環境を今後も残していくために重要だと思うキーワードは、以下のうちどれですか？（○は3つまで）

「自然環境の保全」が 54.7%と最も多く、次いで「散策（コース・案内・観光）」が 42.3%、「地場産野菜」が 33.5%となっている。



2 来訪者アンケート調査

(1) 調査の概要

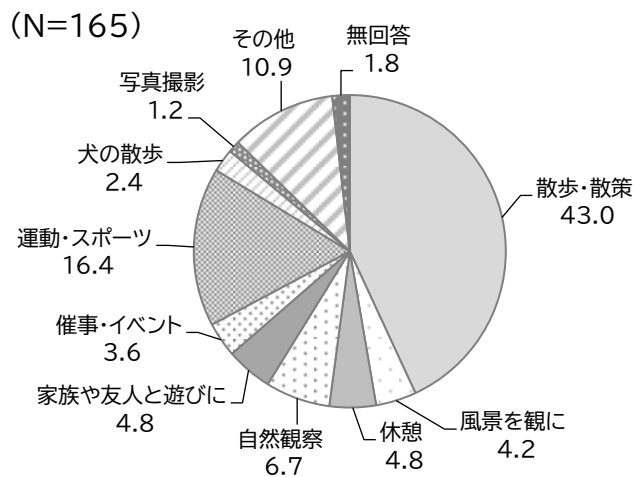
調査期間：2020年12月～2021年1月

調査対象	調査方法	回収数	主な項目
小山田緑地来訪者、 小野路宿里山交流館 の来館者 計 200 名程度	直接配布・ 郵送回収	165	・回答者の属性 ・里山への関心行動の段階 ・イベント参加・来館のきっかけ ・活動（団体）の認知度 ・活動への参加希望 ・主体的行動への意欲 ・求めること 等

(2) 調査結果の概要

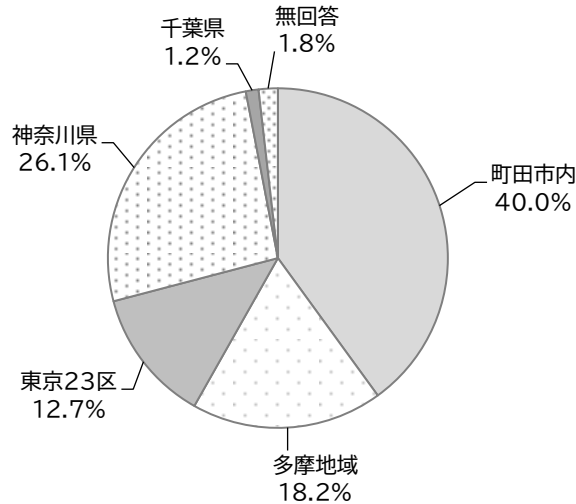
問ア 本日の来訪の主な目的は何ですか？（○は1つ）

「散歩・散策」が 43.0%と最も多く、次いで「運動・スポーツ」が 16.4%、「その他」が 10.9%となっている。



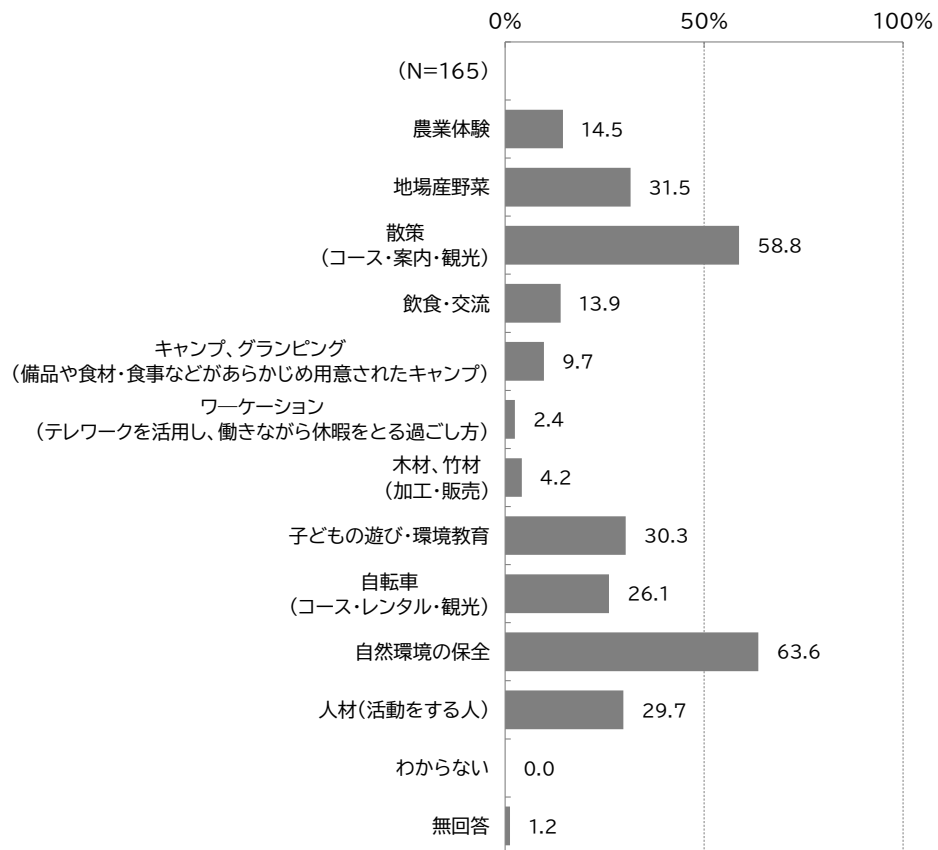
問イ あなたのお住まいの地区をお答えください。

「町田市内」が40.0%と最も多く、次いで「神奈川県」が26.1%、「多摩地域」が18.2%となっている。



問ウ 里山環境を今後も残していくために重要だと思うキーワードは、以下のうちどれですか？（〇は3つまで）

「自然環境の保全」が63.6%と最も多く、次いで「散策（コース・案内・観光）」が58.8%、「地場産野菜」が31.5%となっている。



問工 今後、里山において地域の住民・団体の活動に対する関心や行動の状況について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか？（○は1つ）

「地域の住民・団体の活動をよく知らないが、なんらかの活動に関わりたと思っている」が 33.9%と最も多く、次いで「地域の住民・団体の活動に関心があるが、すぐには交流したいと思っていない」が 24.8%、「地域の住民・団体の活動に関心があり、活動への参加や交流を行っている」が 15.8%となっている。

